

動物と人の予防医学研究会

<https://animal-human-preventive-medicine.com/>

設立 2023年9月1日



理事長

中江 大 (帝京平成大学、東京農業大学客員教授)

副理事長

(五十音順)

新井 敏郎 (日本獣医生命科学大学名誉教授)

矢澤 一良 (早稲田大学)

理事

(五十音順)

大池 秀明 (農業・食品産業技術総合研究機構)

大西 保行 (実験動物中央研究所)

小原 道子 (帝京平成大学)

小林 元郎 (成城こばやし動物病院、株式会社101)

高木 敬彦 (帝京平成大学) 監事兼任

福島 亮治 (帝京平成大学)

宮下 和夫 (北海道文教大学、北海道大学名誉教授)

守口 徹 (麻布大学)

評議員

(五十音順)

岡田 徹 (あすかアニマルヘルス株式会社)

千葉 修一 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社) 監事兼任

松本 高明 (メディサイエンス・エスポア株式会社)

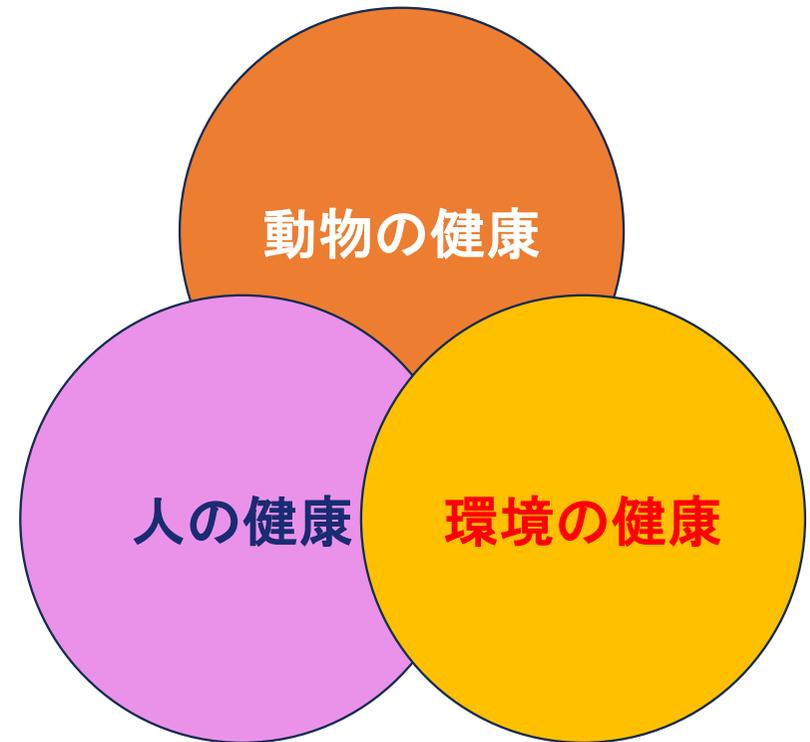
和田 竜哉 (日本薬品株式会社)

One Health/One World, One Health

- 動物の健康、人の健康、そして生態系の健康は、不可分である。

- 動物と人は、お互いに影響し合い、

一方が健康で幸せであること、また、その一方を健康で幸せにすることで、他方に健康と幸せがもたらされる。



「動物と人の予防医学研究会」

- 多岐に亘る分野からの参加者が持つ知識・経験・アイデアなどを結集して**動物と人の健康増進と良好なQOLの達成に繋がるイノベーションを図り、情報発信を行うこと**を目的に設立した。
- 具体的活動予定。
 - **学術集会。**
 - **ホームページによる情報の発信・交換。**
- 大きな目標は次のふたつ。



1. 動物と人のための「**予防医学**」のプラットフォームになる。

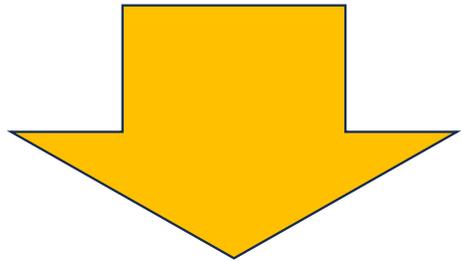
- **食品(成分)利用、栄養制御、動物介在活動、動物行動学、公衆衛生と動物福祉の促進**など様々な方法による。
- 産官学民の関係分野の方々にアイデア・知識・経験・リソースを持ち寄っていただき、動物と人のインタラクションを通じて双方のQOLを向上させる**イノベーティブな介入方法**を見出し、その**情報発信と社会実装**を図る場となる。
- **新たな世代の養成や教育・啓発**の場となる。

2. 「動物用ウェルネスフード」を確立する。

- 人のトクホや機能性表示食品のなどに相当する
カテゴリーとシステムを作る。
- 食品による動物のQOL向上を安全に！
- 可能なら、人と動物が一緒に使用できるものを！

キーワード・新しい概念

- 動物と人の**インタラクション**:それぞれ別に、ではない！
- 動物と人が**一緒にアクション**:「幸せ」の共有を利用！

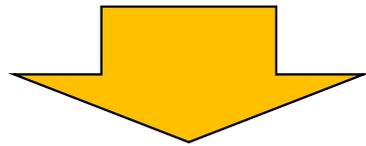


双方のQOLを同時に向上させる！



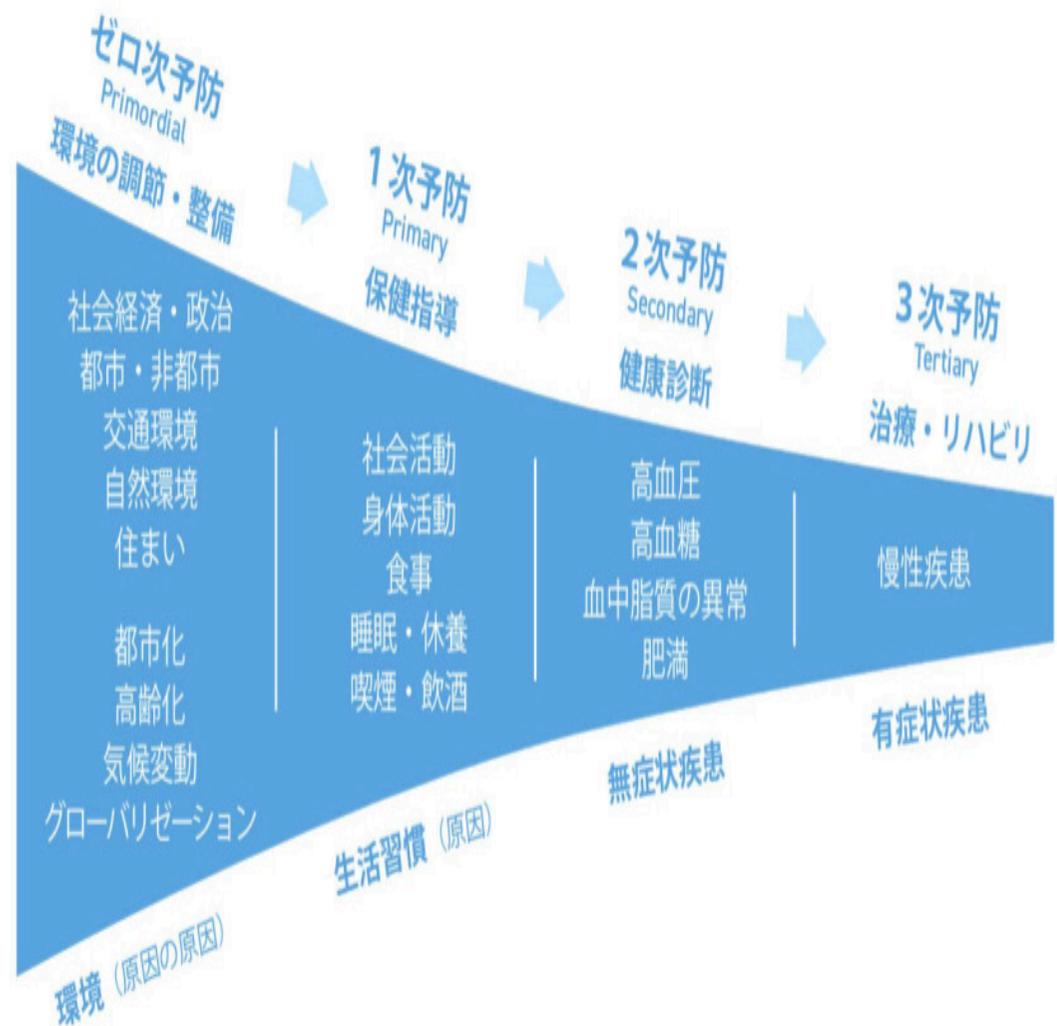
動物と人の健康増進と QOL向上

- 健康寿命の延伸
- 健康で「幸せ」な生活の達成



予防が重要

- ゼロ次予防を含む、
広義の予防「医学」
- 「未病」、そしてさらにその前



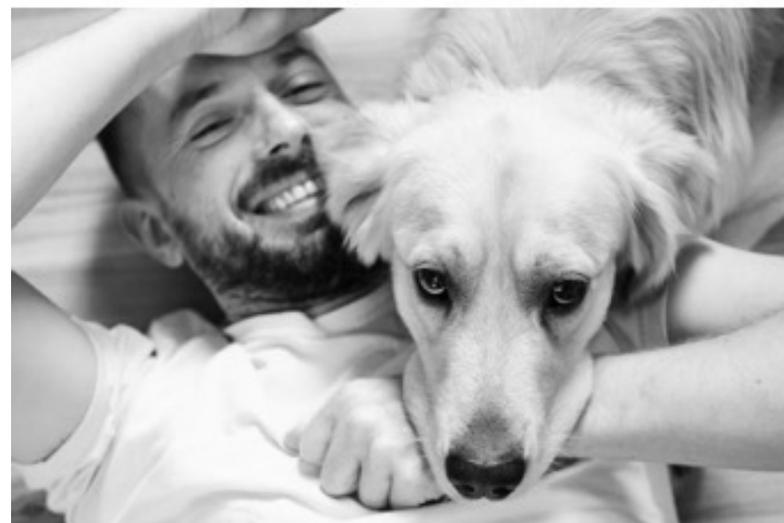
R. Bonita, R. Beaglehole, T. Kjellstr: Basic epidemiology, World Health Organization (1993) を元に花里氏が作成

<https://toyokeizai.net/articles/-/659246> から引用

動物と人の健康増進と QOL向上

- **生活習慣の良好化**
 - **良好な食生活**
 - ✓ 量と質、栄養バランス
 - ✓ 「歴史的食品」の効能
 - ✓ 「機能性食品」の利用
 - **適切な運動**
 - **適切な知的活動**

そして...**動物と人のインタラクション**



動物と人の健康増進と QOL向上

たとえば伴侶動物と飼い主のインタラクションによる...

- **飼い主の精神的な幸福感**
 - 動物が幸せそう → 飼い主の幸福感
 - 動物を幸せにすること
→ 飼い主の満足感
- **伴侶動物の精神的な幸福感**
 - 飼い主が幸せそう → 動物の幸福感(?)
 - 飼い主を幸せにすること
→ 動物の満足感(?)



動物と人のインタラクション による両者の健康増進の例

- 伴侶動物を**散歩**に連れて行く。
 - 伴侶動物と飼い主の双方の**運動を担保**する。
 - 伴侶動物と飼い主の双方の健康増進に資する。
- 伴侶動物と**食事の一部を共有**する。
 - 動物に有用な「**薄味**」を飼い主も食べる。
 - 人に有用な**伝統的食品**や**生物(魚とか)****丸ごと**を動物も食べる。
 - 伴侶動物と飼い主の双方の健康増進に資する。



動物と人のインタラクションによる相乗効果

- 伴侶動物と飼い主が、**同じ「体に良い」ことを一緒に**行う。
 - 同じ「体に良い」食べ物を食べる。
 - 同じ「体に良い」運動をする。



双方の

- ✓健康が増進する。
- ✓満足感・幸福感がもたらされる。
- ✓QOLが改善する。



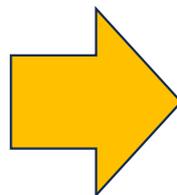
「動物と人の予防医学研究会」

予防医学のプラットフォーム



- 動物または人の健康増進・QOL向上のためのイノベーティブなアイデア(未成熟なものを含む)、原材料や開発技術、材料加工・テクスチャー操作などの技術を持つ研究者・企業
- 動物または人いずれかの健康分野から他方の健康分野に進出を図っている研究者・企業
- それらの若手や、それらに進もうとしている **学生**

- 学術集会での発表
- 学術集会フロア等での情報交換
- データベースへの収載



- プレーヤー間のマッチング
- アイデア・リソースの「化学反応」による創造
- 人材の育成

たとえば、伴侶動物と飼い主が同じものを使って 口内環境を改善する、というアイデア

- 口内環境改善は、認知機能低下の防止など全身に好影響を及ぼし得る。
- 伴侶動物の「歯みがき剤」は食品である。人の「歯みがき剤」は食品じゃないが、食品であってもよい。プロバイオティクス・プレバイオティクスなどを利用して「歯みがき」後に「食べる」ことによって腸内環境改善も加味できる。
- 伴侶動物の「歯みがき」は至難であり、新しい方法論が求められている。

関係する原材料・開発技術・材料加工技術・テクスチャー操作技術などのリソースを持つプレイヤーが集まれば、効率的にイノベーションを起こせる！

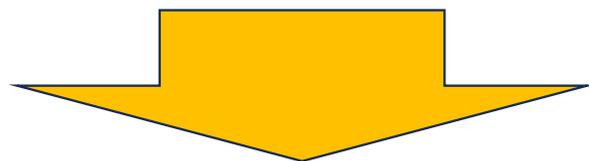
「動物と人の予防医学研究会」

動物用ウェルネスフードの確立



動物用ウェルネスフードへのニーズ

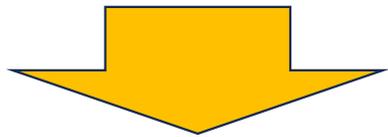
- 健康増進機能を有する食品は有用であるが、**科学的に確証のない「いわゆる健康食品」が氾濫**している。
- 人の場合は、**特定保健用食品(トクホ)**や**機能性表示食品**などの制度が整備されている。
- 健康機能を持ち、**伴侶動物を対象とする食品**や、**産業動物を対象とする飼料**については、**開発の試みがあるが、それらを担保する制度がない。**



- **動物用ウェルネスフード**カテゴリーの確立と、**規格基準**や**有効性・安全性評価のガイドライン**、**認証制度**など**システムの整備**が求められる。

動物用ウェルネスフードの 必要性和マーケット

- 伴侶動物向けの食品の安全性は**ペットフード安全法**が、成分表示などは**景品表示法**が規制している。しかし、動物用医薬品と誤解されるようなヘルスクレームは、**薬機法**に抵触する。
- 産業動物向けの飼料においては、**薬機法**に抵触するようなヘルスクレームは認められない。



- **動物用ウェルネスフード**のカテゴリー確立が必要で、当該システムを整備することが新たな**研究・開発テーマとマーケット**を作り出せる。

ペット用サプリメントに措置命令

消費者庁 景品表示法適用は初

消費者庁は、バウムクーヘン（福岡市中央区）に対し、同社のペット用サプリメント「アイズワン」に係る表示について、景品表示法に違反する行為（同法第5条第1号・優良誤認）として措置命令を、6月14日に行った。ペット用サプリメントは、今回が初めての処分となる。

同庁によれば、同社は少なくとも2022年6月8日〜8月25日までの間、自社ウェブサイトやアフィリエイトサイト「愛犬と満喫ライフ」において、腫が白濁した犬

のイラストや犬の写真、獣医師のイラストやコメントなどを挿入した漫画で、白内障の犬が「アイズワン」を摂取することで、白濁した腫が改善しキラキラした腫を取り戻すことができるかのような宣伝を行っていた、としている。

また、同社のウェブサイト内では、「皆様に選ばれて7冠達成！」「NO.1日本トレンドドリサーチ初めてでも安心の愛犬のアイケアサプリ」などの広告を掲載。「品質満足度」「口コミ人気」「友人にすすめたい」など7

項目において、あたかも客観的な調査で1位を獲得した商品のように標ぼうしていた。

このNO.1表示について同社では同庁が求める資料を提出したが、客観的な調査方法ではなかったと消費者庁は判断。表示の裏付けとなる合理的な根拠を示す資料とは認めなかった。

表示対策課では、「ペット向けサプリメントのヘルスクレームは（何を表記しても）大丈夫という誤解がある」とし、ペット用サプリメントは医薬品ではないため、医薬品的な効果効能を標ぼうすることはできない点を強調。ネットなどの宣伝広告に注意するよう呼び掛けている。

「動物と人の予防医学研究会」へのお誘い

趣意に賛同していただき、一般会員・賛助会員として参画していただければ、たいへんありがたく思います。

- **一般会員**：本会の目的に賛同し、その事業に参加する個人。
年会費3,000円。
- **学生会員**：大学及び大学院の修士または博士課程に在籍する学生個人（ただし社会人としての身分を有する所属組織からの留学者や被派遣者などの場合を除く）。 ⇒ 学生会員は会費無料！！
- **賛助会員**：本会の目的に賛同し、その事業を援助する団体・個人。
年会費、一口10,000円で複数口。

「動物と人の予防医学研究会」へのお誘い

ホームページ:

<https://animal-human-preventive-medicine.com/>

御問い合わせは、

「動物と人の予防医学研究会」事務局

電子メール: info@animal-human-preventive-medicine.com

新規入会ページ(学会バンク):

<https://gkb.jp/s/ahpm/application>

新規入会ページにアクセスできない場合は、上記事務局に御問い合わせください。



「動物と人の予防医学研究会」 第1回学術集会へのお誘い

奮って御参加いただければ、ありがたく思います。
学生の参加費は無料です。

よろしくお願ひします。

参加申込サイト：<https://gkb.jp/visitor/seminar/195>



情報交換会参加申込サイト：<https://gkb.jp/visitor/seminar/197>



6月29日（土）13:00～17:00
帝京平成大学 池袋キャンパス
冲永記念ホール

JR池袋駅から徒歩12分
東京メトロ東池袋駅から徒歩10分

「動物と人のQOL向上のための新たな取り組み」

発足記念学術集会

プログラム
「動物と人の予防医学研究会」の目指すもの
中江理事長（帝京平成大学）
加齢性疾患の予防
新井副理事長
高齢化時代のペットとヒトの共生、在宅医療
小原理事
大池理事
高濃度酸素水のアプリケーションとサプリメントとの
コラボレーション
松本評議員
動物と人のための機能性食品
守口理事
機能性飼料の開発と社会実装におけるビジネスとしての
課題
岡田評議員
マテリアル企業の立場からの研究会プラットフォーム機能への展望
千葉評議員
動物と人の予防医学
矢澤副理事長

参加費 3,000円
(学生は無料)

動物と人の予防医学研究会

